

今年こそキタダケソウに会えるか

小太郎山・北岳

実施日 2023年6月23日(金)～25日(日)

天候 晴れ

リーダー 瀧澤 きよの

参加者 瀧澤きよの、峯川弘子、佐藤聡美、阿部みゆき、中村友子 計5名

費用 3,036円(立川起算) 4,580円(協力金300×2含む) 計7,616円
 宿泊費 白根御池小屋 10,500円 北岳肩ノ小屋 12,000円 計22,500円 合計30,116円

タイム 6/23 甲府駅南口(9:05) 広河原B S (10:58~11:07) 第二ベンチ(13:30~13:45) 白根御池小屋(14:50) 泊

6/24 白根御池小屋(5:40) 草滑り～小太郎山分岐(8:20) 前小太郎山(10:34~45) 小太郎山(11:30~45) 前小太郎山(12:20) 小太郎山分岐(13:40~14:10) 北岳肩ノ小屋(15:15) 泊

6/25 北岳肩ノ小屋(5:30) 北岳(7:00) 8本歯分岐前(7:15~30) 北岳(7:50) 北岳肩ノ小屋(8:20~40) 白根御池小屋(11:40~12:00) 広河原B S (15:15~16:40) 甲府駅(18:23)

6/23 甲府駅から広河原行は、今日からバス運行日です。臨時便も出て、ガイドの説明もマスク越しで何言っているのか、良く分からない。芦安でMさん合流。広河原インフォメーションの前に新広河原山荘が、変わりました。



登山届提出、身支度済ませ、野呂川沿いから左の吊り

橋を渡り、広河原山荘の横手から大樺沢左を登る。ゆっくり歩きで皆さんタイタニックの話で持ち切り、急登階段が増えて根っこ階段も楽しく登る、時折ガスの水滴が落ちるが、青空ものぞく第二ベンチで一服。新録が鮮やかです。



急登階段の先滝を見て癒され、崩れた所も修復され漸く落ち着いた登山道になり、白根御池小屋到着です。チェックイン済ませ御池からの北岳はガスって、鳳凰三山はオベリスクも、食事までの一時夕日を見ておしゃべり明日の話をしながら、食事の後、きれいな部屋は全部パーティションで区切られ、こぶし会は一部屋で明日の為に静かに休む。

6/24 白根御池小屋から快晴の草滑りをコバイケイソウは出たばかり、ニリン草が咲きだして、急な草滑りもシラネキンバイソウ、米桜、イワ



カガミも見られ、根っこ階段の段差が高く急登のツズラ折をゆっくり登り、ハイ松が出雪溪も小太郎の標識

が置かれたハイ松滞にザックデポし、アタックザックで右稜線を急降し岩稜滞ハイ松藪漕ぎですが、花畑、

甲斐駒が癒してくれます。樹林帯の中から岩稜急登で前小太郎山です。



稜線状に小太郎山わずかで頂上。素晴らしい、前にイケメン甲斐駒、八ヶ岳、鋸、仙丈の大きい事。そして北岳がよんでます。

昼食済ませ、ピストンで岩稜滞から分岐迄戻ります。

ザック背負い、花畑にオヤマノエ

ンドウ見れ、鎖場、岩場を天場横目に着きました。新築肩の小屋チェックイン済ませ、明日のキタダケソウの場所も聞き、記念の花カード、ワインも頂き、なんていい日でしょう。

あまりにも絶景なる、景色。雲海に富士山、甲斐駒、八ヶ岳、仙丈、北アルプス、中央ア、そして噴煙の浅間山。夕日のピンクに染まった富士山。夕食は豪華な、ポークステーキビッグサイズ二枚、元気出ました。食後ブロッケン現象を見る事が出来、一番賑やかはこぶし会だったかも。

新築の部屋は二段ベッドパーティションで区切られ、ぐっすり就寝。夜中満点の星空も見れました。

6 / 25 食事前に日の出を待つ4時



30分頃、甲斐駒の側から雲海、富士山、日の出を見る事が出来ました。

食後、小屋にザックデポし、小屋の裏から礫を踏んで急登し北岳北方を巻き北岳山頂360度大展望です。

富士山、間ノ岳、農取岳、八ヶ岳、甲斐駒、仙丈、北アルプス、中央アルプス等眼下には赤い屋根の北岳山荘。写真も順番待ち。目的のキタダケ草を探しに、北岳山頂から南へ、岩稜滞を巻き下る。



登山道荒れて急降下すると池山吊尾根分岐から、さらに八本歯コルに向かうと、キタダケ草が

咲いてました。パセリの葉っぱに可憐な白い花。登山者の皆さんがお目当ての写真撮影です。ラッキー。

ピストンで北岳に戻り、北岳肩の小屋からザック回収して、ぐんぐん下り小太郎山分岐見送り、草滑りのお



花畑を見ながら、白根御池小屋でうどんを食べようという事で、「うどん、うどん」大コール。白根御池、テント場が間地か小屋に着くと、うどん注文も今年は中止です。残念です。

昼食を摂り広河原に向かい、急下降階段、根っこ、気を付け下り広河原山荘から吊り橋を渡り、時間があるので新広河原山荘でお茶飲みおしゃべりタイム。

5台のバスが広河原から甲府に向かいます。新緑と揺れが気持ち良い。Mさん芦安で降車。3日間晴れで、計画以上の達成感です。

皆さんありがとう御座いました。北岳にきただけ。又、北岳に登り、今度はうどんを食べましょう。

(記・瀧澤きよの)
(写真提供・峯川弘子/佐藤聡美)

